

BankART 妻有 2022年の夏
桐山の家
Kiryama House

2022年7月30日[土]～9月4日[日]

松代の駅から曲がりくねった道をいき、芝峠温泉を越え、車で約12分。休耕している棚田が見下ろせる場所に建つ、築50年の普通の農家。大きな落葉樹が2本、60年ぐらい経っている杉が10本程、すぐ近くに巨大な双子のご神木と祠。建物は半分傷んでいる。普通の家を普通の家のように改修していきたい。外にキッチンがあってもいい。お風呂を気持ちよい空間にし、外の風呂もあってもよい。ありとあらゆる部分をそのままにしておきたい。表札や取手やまな板や茶碗、こたつ布団。枕、すだれ、カーテン、家具、コンロ……。ありとあらゆる部分をアーティストに委ねたい。誰が訪ねてきてくれても、野菜やアイスクリームやお風呂でもてなしたい。誰が訪ねてきてても普通に過ごせる家にしたい。

(みかんぐみに手渡した手紙より)

The Kiriyama House used to be a regular farmer's house of 50 years old. It takes 12 minutes by car from Matsudai station after driving across the mountain pass around Shiba touge Spa. The house overlooks the terraced rice fields that is lying fallow now. In the neighborhood there are two big deciduous trees, with about 10 trees of 60 years old. Next to the house, there remains a small shrine along with a pair of giant trees dedicated to the gods. The house was abandoned and quite damaged. We think we will renovate the house just as a normal traditional one. The kitchen and bath room can be in the outside as in the old days, but they should be clean and comfortable. While renovating the building, we wish to preserve the things in the house as they are: the nameplate, door knob, cutting board, teacups, futon, pillows, curtains, furniture, cooking stove etc. At the same time we wish to leave all of them at the artists' disposal, so that this can be a place for artworks. Of course, everyone is welcome. We are willing to offer fresh vegetable, sweets and soothing bath. Everyone should have a nice time here, then we hope that the house may become for everybody.

(Excerpt from a letter sent to Mikan)

BankART 妻有 2022年の夏 桐山の家 Kiryama House

期間| 2022年7月30日[土]～9月4日[日](火・水曜日は休み)

時間| 10:00～17:00

住所|新潟県十日町市桐山86(大地の芸術祭作品番号D325)

今年も「越後妻有 大地の芸術祭」開催に伴い、7月30日～9月4日の間、「BankART 妻有」をオープンします。BankART 妻有は、地域の人に譲っていただいた古い農家を2006年にみかんぐみや神奈川大学曾我部研究室とBankARTが協働し、改造したものです。その後も多くのアーティストが関わり、障子や呼び鈴、手すりや屋根裏部屋、床の間や寝室等、家の様々な部位が作品によって構成されてきました。またお風呂やトイレ、小さなプール、Wi-fiも完備しており、宿泊することも可能です。芸術祭会期中は、BankARTのスタッフが居住し、お茶とかき氷を用意して、皆様をお待ちしております。

参加作家|みかんぐみ、神奈川大学曾我部研究室、丸山純子、松本秋則、村田 真、PHスタジオ、野老朝雄、ヤング荘、原口典之、田中信太郎、開発好明、白井美穂、吉川陽一郎、磯崎道佳、進藤 環、東野哲史、池田拓馬、トラフ、スタジオニブロール、和田みつひと、木村崇人、山下拓也、中原浩大、熊澤桂子、浅井裕介、自転車部/KOSUGE1-16、他



BankARTschool

BankART 妻有 2022 夏合宿

BankART Schoolでは5日間の夏の妻有合宿を行います。合宿はゼミと作品鑑賞ツアーが含まれます。初日は11時「まつだい」駅集合です。奮ってご参加ください。

A: 8/4[木]～8[月] 村田 真「越後妻有プラスワン」

最初に「大地の芸術祭」の作品を見ていただき、その中でインスピレーションを受けた作品を自分なりに咀嚼し、解体し、再構築し、作品化していただきます。絵でも写真でも立体でも文章でも可。越後妻有の大地に1点加えてください。

むらた・まこと | 美術ジャーナリスト、画家。実践女子大学非常勤講師、BankARTスクール校長も務める。



B: 8/11[木]～15[月]

開発好明「狭間、隙間、間についての1,2,3」

滞在中や移動中に、3つの「間」について考え、実践するワークショップ。

狭間：滞在先の場所を使い、参加者が現地で見つけたり買った物を使って作品作り。

隙間：小さな場所や空間を使って埋め合わせる作品作り。

間：物ではなく、時間を捉えた作品作り。

かいはつ・よしあき | 1966年山梨県出身。1993年多摩美術大学大学院修了。2004年ヴェネチア・ビエンナーレ第+9回国際建築展日本館「おたく：人格＝空間＝都市」出品。



料金：45,000円(各ゼミ参加費、芸術祭見学ツアー〔芸術祭チケット含〕、宿泊費(BankART 妻有)、4泊5日の飲食代) 定員：6名

お申し込み方法 ①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申込み・お問い合わせ BankARTスクール事務局
school@bankart1929.com TEL 045-663-2812

BankART 妻有

TEL: 025-597-2520(7/30～9/4のみ)

BankART1929

220-0012 横浜市西区みなとみらい5-1 新高島駅B1F

TEL: 045-663-2812

E-mail: info@bankart1929.com

越後妻有 大地の芸術祭 2022

会期: 2022年4月29日(金祝)～11月13日(日) 全145日間

※全期間を通じて火・水曜日は休み(GWは除く)

開催地: 越後妻有地域(新潟県十日町市、津南町) 760km²

www.echigo-tsumari.jp